

「世界水路の日」とは？

船舶交通の安全と海洋環境の保全に不可欠な水路業務の重要性を一般の人々に広く啓発することを目的として、2005年11月の国連総会において、国際水路機関の設立日である6月21日が「世界水路の日」として定められました。

2014年「世界水路の日」テーマ

「水路技術 -航海用海図から多彩な海洋産業へ」

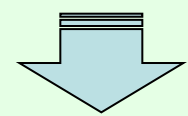
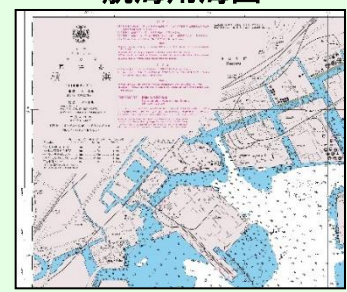
＜テーマの解説＞

○水路技術とは、海の深さや流れを測る技術のことです。

○これまで、水路技術で得られたデータは、船舶の安全な航海に欠かせない航海用海図の作成に主に利用されてきました。

○近年、水路技術で得られたデータは航海用海図だけでなく、洋上風力発電、海底パイプライン、水産養殖場、海洋レジャー等の適地選定などに活用されるなど、多彩な海洋産業の発展に欠かせない存在になっています。

航海用海図



洋上風力発電



海底パイプライン



水産養殖場



海洋レジャー

